



栗 山



学 校 だ よ り
学校運営協議会だより

校訓：誠実・自律・調和

令和3年4月13日

第1号

八王子市立浅川中学校



『みそあじは』浅川の優しさ

～自律した主体的な生徒の育成と、優しく学び合う関係づくり～

校長 市場 陽一郎

みころもの山の本々がやわらかなパステル色の新芽を身にまとい、優しく浅川中の校舎を包み込み、新たな季節のはじまりです。そして、本校は新入生109名を迎え、379名の生徒、40名の教職員で落ち着きの中にも活気のあるスタートを切りました。入学式では新入生の緊張した表情とは対照的に進級した上級生は成長し、その自律した姿から「誇れる上級生」となる自覚と決意を感じました。新入生はきっと上級生の姿から素直に学び、成長して行くものと期待しています。



写真：廿里町から見る春のみころもの山々と浅川中

今の浅川中は、生徒と教職員が保護者、地域の方々に支えていただきながら、穏やかに学び合える学校となっています。目指す生徒像は『人と人との関わりから学び合い、社会に貢献できる生徒』であり、ここで満足することなく、進化を続けなければなりません。全ての生徒が人と人との関わりを大切にする優しさを持ち、明るく伸びやかに学校生活を送ってほしいと思います。そして、仲間と共に楽しく学び合い『共に学ぶ、もっと人に優しい学校』を創ってほしいと願っています。合言葉は「もっと優しく、浅川中」です。

そのために今年度は、『自律した主体的な生徒の育成と、優しく学び合う授業づくり』を目指します。そこでまず、伝統の『みそあじは運動』の徹底を具体的な行動目標としました。「み」みだしなみ、「そ」そうじ、「あ」あいさつ、「じ」時間、これらは自律の心と周囲への配慮や思いやりのある優しい行動ととらえます。また、「は」話を聴くことも相手を認め、思いを受け止める優しい行為です。共に学ぶ学校で「聴き合う関係づくり」は最も大切にすべきことだと考えます。特に今年度は、生活指導部が「自己指導能力育成」のために『あいさつ』を指導の重点に置きました。『あいさつ』は相手を認める優しい行為です。そしてまた、自分から『あいさつ』できる前向きな気持ちが育ってこそ主体的に行動できる人間になっていく、という意味のある行為です。この自律した優しさに裏打ちされた『もっと、みそあじは運動』が本校のアイデンティティー（特色、独自性）となるように意識付けていきます。

もう一つ今本校が意識していることがあります。それは、いかにして子供たちに当事者意識を持たせ、考え、行動させるかということです。子供たちが自分事としてものごとを捉え、「責任ある行動（自律）」や「違いを認めて学び合うこと（調和）」を自ら実践する力がついたとき、必ずや社会に貢献できる人間へと成長するものと信じています。授業や学校行事、学級活動、委員会、部活動などあらゆる場面で自分ならどう考え、どう行動するのかを生徒に問いかけながら「自律、主体性」を意識した教育活動を行います。教師は伴走者やファシリテーターとして出来る限り生徒の自己決定を促す指導、支援を大切にします。今年度から全面実施となった新学習指導要領が目指す「主体的、対話的な深い学び」を獲得するためにも当事者意識を持ち、仲間と対話し学び合い、深く考え、自ら行動するための「学び合う授業づくり」と「自己指導能力育成」に学校挙げて取り組みます。

保護者、地域の皆様、コロナ禍の中でこれまでも大変お世話になってまいりました。今年度も浅川の子供たちが明るく、真っ直ぐ伸びて行けるように、温かい見守りとご支援をよろしくお願いいたします。



令和3年度 浅川中学校教職員

校 長	市場 陽一郎	経 営	美術科	美術部 水泳部 スキー部
副校長	臼井 祐治	経 営	数学科	柔道部 生物部

1 学年	A組担任	大野 裕太	教 諭	保健体育科	生活指導主任 野球部
	B組担任	酒井 良樹	教 諭	数学科	サッカー部 てらこや
	C組担任	越後谷 太郎	主任教諭	社会科	陸上競技部
	D組担任	柴崎 浩一	主幹教諭	理科	1 学年主任 生物部
	副担任	野呂 秀美	新規採用	英語科	ハンドメイド部
	副担任	佐藤 悦子	教 諭	国語科	サッカー部

2 学年	A組担任	佐々木 淳子	主幹教諭	英語科	2 学年主任 Eステップ
	B組担任	村上 耀亮	新規採用	技術科	男子バスケットボール部
	C組担任	池田 薫	教 諭	数学科	テニス部 てらこや
	D組担任	中島 慎太郎	主任教諭	理科	教務主任 吹奏楽部
	副担任	佐藤 由美	主任教諭	美術科	美術部
	副担任	川崎 奨生	新規採用	数学科	女子バスケットボール部 てらこや
	養護教諭	木村 里歩	養護教諭		卓球部 スキー部

3 学年	A組担任	倉持 昇一	主任教諭	保健体育科	3 学年主任 陸上競技部
	B組担任	野田 剛	教 諭	数学科	バレーボール部、野球部 てらこや
	C組担任	金木 真由美	教 諭	音楽科	ボランティア部
	D組担任	八重幡 理	主幹教諭	国語科	進路指導主任 バスケットボール部 剣道部
	副担任	松下 隆顕	主任教諭	社会科	吹奏楽部
	副担任	和田 里英	教 諭	英語科	バレーボール部、Eステップ
	副担任	後藤 宏和	教 諭	英語科	テニス部、Eステップ

通級指導学級 くりやま学級	末光 真之	主任教諭	保健体育科	陸上競技部
	篠田 宇行	主任教諭	社会科	サッカー部
	山内 美幸	主任教諭	保健体育科	バレーボール部
	紫藤 勇祥	教 諭	社会科	バスケットボール部
	今井 鮎子	教 諭	美術科	ハンドメイド部
	新田 強市	教 諭	社会科	水泳部 柔道部
	谷合 夏佳	教 諭	保健体育科	女子バスケットボール部
	篠原 可子	新規採用	保健体育科	剣道部
	長坂 昌弘	非常勤教諭	音楽科	ボランティア部
	谷 淳子	専門員		

講 師	中澤 雅美	国語科	講 師	佐藤 美咲	家庭科
講 師	高城 奈那子	理科	講 師	杉森 郁美	保健体育科
講 師	東 佳奈	英語			

都事務職員	小川 真佐子	事務主任	学校司書	大柴 美穂
市事務職員	上田 典文	事務職員	スクールカウンセラー	五十嵐 真由美
用務主事	浅岡 寿生	用務主任	スクールサポートスタッフ	関口 加代子

学校運営協議会					
会長：佐藤 ますみ	委員：淵上 明美	遠藤 由起子	佐戸 博	柳澤 則子	
	市川 賢一	橋本 恵子	本堂 敦子	市場 陽一郎	

<転出>

近藤 政男	副校長	八王子市立横川中学校
山本 和郎	教諭	あきる野東中学校
高橋 知佳子	教諭	稲城市立第二中学校
小松崎 俊平	教諭	青梅市立東中学校
早川 章子	教諭	八王子市立城山中学校
木船 重陽	教諭	退職(福岡市立元岡中学校勤務)
新田 恵	臨時的任用教員	任期満了

<転入>

臼井 祐治	副校長	調布市立第七中学校
越後谷 太郎	主任教諭	町田市立小山中学校
谷合 夏佳	教諭	日の出町立大久野中学校
村上 耀亮	教諭	新規採用
川崎 奨生	教諭	新規採用
野呂 秀美	教諭	新規採用
篠原 可子	教諭	新規採用

令和3年度 浅川中学校学校経営計画

八王子市立浅川中学校長 市場 陽一郎

はじめに

目指す生徒像は「人と人との関わりから学び合い、社会に貢献できる生徒」である。本校の校訓にもある自律と調和を意識し、人への優しさを大切に、関わって学び成長する生徒を理想としたい。自分事としてものごとを考える生徒が「責任ある行動（自律）」と「違いを認めた合意形成（調和）」できる力をつけるために、「自己指導能力育成」と「学び合う授業」づくりに学校挙げて取り組まなければならない。

★校訓★ 『誠実』・『自律』・『調和』（平成29年度に策定）

1 教育目標

自ら、確かな学力、豊かな人間性や社会性、たくましい体を主体的・創造的に育み、その能力等を、自己実現及び社会の発展のために発揮できる生徒を育成する。

◎ 自ら学び考え行動する生徒 ・ ・ ・ ・ ・ 【今年度の重点】

○ 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒

○ 心身ともに健康で、たくましく生きる生徒

2 目指す生徒像

『人と人との関わりから学び合い、社会に貢献できる生徒』

◎自律と調和を意識し、人への優しさを大切にする生徒

◎関わって学び、成長する生徒

◎常に当事者意識を持ち、自分事としてものごとを考える生徒

3 目指す学校像

『共に学ぶ、もっと優しい学校』地域運営学校として公立学校での使命を果たす学校

学校経営の基本方針—経営のスローガンおよび指導方針—

「学校経営のスローガン」

愛情・誠実・使命感をもって行動し、『共に学ぶ、もっと優しい学校』を目指す。

人と人とのつながりを大切に、認め合う学級、学年経営を行う。具体的な方策として「学び合い、聴き合う授業づくり」を進める。生徒一人一人の学力を保障することはもちろんであるが、互いに認め合い高め合うという人権尊重の精神を毎日の授業を通して浸透させることにより、いじめ、不登校はもとより生活指導上の問題発生を予防する。

今年度の指導の重点

『自律した主体的な生徒の育成と、優しく学び合う授業づくり』

⇒ そのための合言葉は『もっと優しく、浅川中』・・・みそあじは運動

1. 自律した主体的に行動できる生徒の育成

《褒めて育てる指導⇒温かく、厳しく、大事に育てる》

◎自律のための自己指導能力育成と温かい人間関係

・「みそあじは運動」を優しい行為として捉え、全教職員が共通認識を持ち指導、支援する。

「み」自律を促す服装指導・・・指定セーター、ポロシャツ導入による衣替え廃止。

「そ」そうじは誰かのために頑張る優しい行動。4 人班で責任ある行動を。
「あ」あいさつは相手を認め、思いを伝える優しい行為。良いあいさつができるように。
「じ」時間は皆のもの。時間を守るのは周囲への優しい行為。ノーチャイム始業の徹底。
「は」話を聴くことも相手を認め、思いを受け止める優しい行為。聴き合う関係づくりを。

- ・生徒理解の上に立った、生徒の人格を大切に**する温かい指導、支援**を徹底する。
- ・教師が伴走者やファシリテーターとして生徒の**自己決定を促し指導、支援**を行う。
- ・認め合い、高め合う優しいクラスづくりを全クラスで行う。
- ・**自己肯定感を高め、前向きな学校生活を送らせるために、『もっと優しく、浅川中』を合言葉**に、授業、学校行事、委員会活動や部活動などあらゆる場面で生徒に達成感をもたせる。
- ・特に、修学旅行、移動教室、校外学習では当事者意識を持たせ、自律と調和を意識した教育活動となるよう計画、実施する。

◎特別支援校内委員会で生徒への支援の方向性を共有確認し、丁寧に指導支援する。同時にくりやま学級との連携で支援の必要な生徒を支えていく。

2. 学び合い、高め合う魅力ある授業づくり ≪「学びの共同体」の理念を基に≫

- ◎ グループ学習を柔軟に取り入れ、協働的な魅力ある授業を展開する。
 - ・教師の授業力を向上させるため、國學院大學齋藤智哉教授を招き、学び合う授業づくり校内研修会を年3回実施。教員は年2回の研究授業（学年研修を含め）を行う。
 - ・積極的に放課後学習、補習等を行い、学力に不安をもつ生徒を支援し学習意欲を高める。
- ◎ 学び合う授業づくり、聴き合う関係づくり（生活4人班、コの字座席導入等）により、安心して学べるクラスをつくり、関わる力を身につけさせ不登校やいじめを防止する。
- ◎ OJT推進委員会が中心となり、教職員同士の学び合いの風土を創る。

3. 地域運営学校として『地域から信頼される学校』に＜社会に貢献する意識の育成＞

◎学区に高尾山を持つ学校として、日本遺産高尾山学習に取り組む

- ・日本遺産高尾山学習に取り組み、郷土を知り、考え、発信できる生徒を育て、故郷に愛着と誇りをもたせる。
- ・SDGsの考え方を学び、自分事として考え、行動できる生徒を育てる。

○学校運営協議会、青少年対策浅川地区委員会との連携

- ・生徒に積極的にPTA・地域行事、ボランティア活動への参加を促す。地域で活躍し貢献する場や、地域の方々との関わりの中から学ぶ機会を増やす。
- ・より地域から信頼される学校を目指し、教職員のPTA・地域行事への積極的参加推進。

4. GIGA スクール構想、ICT 機器活用に挑戦

◎一人一台 PC の積極的活用

- ・教科の授業や様々な教育活動の中でPC活用を実践する。
- ・補充的学習や個別支援でのPC活用を実践する。
- ・緊急事態や不登校生徒対応でのPC活用を試行する。

◎ホームページ、デジタルサイネージの充実と発信、校務の効率化

- ・デジタルサイネージコーナーの充実による情報発信を行い、生徒の意欲を高める。
- ・学校ホームページにより、地域へ学校情報を発信し開かれた学校にする。

5. 働き方改革を意識した教育活動・部活動の充実

- ・定時退勤日を毎月設定。職員会議日を基本とする。（特例は管理職に相談）
- ・全ての部活動に複数顧問を配置し、生徒の活動の保障と教員の負担の軽減を図る。
- ・八王子市、浅川中部活動ガイドラインを基にバランスの良い健全な部活動運営を目指す。